

ヨーネ病の防疫対策を徹底しましょう

今年度当初管内で実施した牛のヨーネ病定期検査と追跡調査で、3戸5頭のヨーネ病患者畜が確認され、県内における年間の発生では過去最多となりました。

ヨーネ病予防のため、再度防疫対策の徹底をお願いいたします。

◆発生防止・まん延防止のために

次の点に留意し、飼養衛生管理基準の遵守の再徹底を行い、特に感染リスクの高い子牛に注意して予防に努めて下さい。

◎牛を導入する際は・・・

- ・農場への侵入防止のため、清浄地域から導入しましょう
- ・導入後は、ヨーネ病検査を受け、検査結果が明らかになるまでは、導入した牛を隔離飼育しましょう

◎適切な飼養衛生管理

- ①牛舎内（特に牛床、飼槽、ウォーターカップ）は、定期的に清掃、洗浄、消毒を実施し、常に清潔にすること
- ②農場入り口への消毒薬の散布、牛舎入り口への踏込消毒槽の設置により、入場車両や作業靴の消毒を行うこと
- ③日頃から飼養牛の健康状態を観察し、異常がある場合は獣医師または家畜保健衛生所に連絡すること
- ④分娩牛房は清潔に保つこと
- ⑤子牛に給与する初乳は、清浄性の確認が行われている農場の牛の初乳か代用初乳を使用すること
- ⑥子牛は出来るだけ早く成牛群から離して飼うこと
- ⑦牛の糞尿及び使用した敷料は草地等への直接還元も避け、切り返し等を十分に行い、完全に熟成させること
- ⑧牛舎内への野生動物の侵入を防止して、牛舎の飼槽やウォーターカップ、飼料の保管場所等にねずみ、野鳥等の野生動物の排せつ物等が混入しないようにすること

◆ヨーネ病とは

- ・ヨーネ菌の感染によって起こる牛、水牛、めん山羊、しかの法定伝染病です。
- ・主な症状は、頑固な下痢、削瘦など。妊娠や分娩などのストレスが発病の誘因とされています。
- ・感染経路は、口からヨーネ菌が牛の体内に入ることによりますが、成牛よりも子牛の方が少量の菌で感染します。
- ・発病までには長期間かかり、治療方法もワクチンもないため、感染(侵入)防止の対策が重要です。



下痢便が付着した臀部、後肢及び尾部



顕著な削瘦を示し、後軀に下痢便が付着した罹患牛

<出典:増補版家畜疾病カラーアトラス>

家畜の病気に関するお問い合わせは山梨県西部家畜保健衛生所まで
電話・・・0551-22-0771 FAX・・・0551-22-6728
夜間の連絡は・・・090-5564-1018
土日・休日の連絡は・・・090-5564-1018 または 090-5568-0817